

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	○災害対策 防災計画に沿った消防の立会いや自主的な避難訓練を行っている。夜間は職員1人体制であり、非常時には地域の協力が不可欠となる。運営推進会議の議案に取り上げるなどし、協力体制を整えることが望まれる。	地震つなみを想定した避難マニュアルの見直しと訓練の強化を行う。	23.04～ 運営推進会議で意見を伺う。地震つなみを想定した避難マニュアルの見直し。 23.05～ 避難訓練の強化を行う。 23.10～ 達成度合いについて評価・修正を行う。	12ヶ月
2	2	○事業所と地域とのつきあい 地域のスーパーでの夕食の買い物や散歩を通して、自然な交流を図っている。開所1年目で、「みんなの家」が地域に溶け込んで、近隣の住民と交流できるような、今後の働きかけに期待したい。	地元の保育園・幼稚園、学校等との定期的な交流につなげる活動を行う。	23.04～ 地元の保育園・幼稚園、学校等へ交流について調整を行う。 23.06～ 定期的な交流を行う。 23.10～ 達成度合いについて評価・修正を行う。	12ヶ月
3	40	○食事を楽しむことのできる支援 各階で職員と共に食事している。盛り付けは各階で行うが、朝食以外は2階ユニットの食事も1階で作っている。一部の入居者は積極的に関わっているが、食事作りに参加していない入居者も多い。食事作りの一連の作業は、匂い、音等の五感の刺激や役割づくりなど、喜び、張り合い、自信を引き出すことにつながり、ユニット毎に行われることが望ましい。	食事作りに参加できる人が増えるよう、役割分担等の見直しを行う。	23.04～ 食事作りについて役割分担の見直しを行う。 23.10～ 達成度合いについて評価・修正を行う。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。